



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社ホットランド 上場取引所 東
コード番号 3196 URL <http://www.hotland.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐瀬 守男
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理本部長 (氏名) 武藤 靖 TEL 03 (3553) 8885
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	11,459	21.9	1,105	66.7	1,514	107.9	930	97.5
2023年12月期第1四半期	9,397	19.4	663	34.6	728	△30.0	471	△32.0

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 1,120百万円 (145.2%) 2023年12月期第1四半期 456百万円 (△46.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円
2024年12月期第1四半期	43.81	—
2023年12月期第1四半期	21.76	—

(注) 第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第1四半期	26,445	11,664	42.0	522.24
2023年12月期	23,713	10,756	43.4	484.03

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 11,096百万円 2023年12月期 10,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	16.2	2,800	25.3	2,750	4.3	1,450	42.0	68.24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年12月期1Q	21,655,600株	2023年12月期	21,655,600株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年12月期1Q	408,244株	2023年12月期	408,244株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年12月期1Q	21,247,356株	2023年12月期1Q	21,655,345株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、為替変動や物価高等の影響が続く状況ではあったものの、コロナ禍からの経済活動の正常化が進む中で雇用・所得環境の改善の動きが見られる等、緩やかな回復基調となりました。一方、海外においては、米国経済は堅調に推移しているものの、ロシア・ウクライナ情勢や中東情勢、中国経済の成長鈍化等の下振れリスクを抱え、先行き不透明な状況で推移いたしました。また、外食産業におきましては、経済活動の正常化による人流の回復やインバウンド需要の増加により好調に推移しておりますが、原材料価格や人件費の高騰に加えて、継続的な物価上昇による消費者の節約志向が強まる等、経営環境の回復は緩やかなものに留まっております。

このような状況下、当社グループは、2023年度から2027年をターゲットとした「中期経営計画」に基づき、既存事業の深化と今後を見据えた新業態・新事業の開発、育成、成長に引き続き取り組みました。

「築地銀だこ」事業においては、3月5日より全国の築地銀だこ店舗（一部店舗を除く）にて、創業27周年を記念した『大創業祭』を開催し、第1弾として3月5日から7日までの3日間、創業以来人気No.1の“ぜったいうまい!! たこ焼（ソース、8個入り）”を『サンキュー価格=390円（税抜）/420円（お持ち帰り税込）』でご提供する“サンキューセール”を実施いたしました。また第2弾は3月8日から10日までの3日間、銀だこスタンプカードの『スタンプ2倍』を、第3弾は創業記念日にあたる3月14日に当日限定で『スタンプ3倍』を実施したほか、『大創業祭』の盛り上げに合わせ、3月8日から“ぜったいお得な回数券”も数量限定で発売いたしました。さらに、今回回数券の発売に合わせ、PayPayポイントが最大5%戻ってくるPayPayクーポンの配布も実施いたしました。また、3月18日より「LINE」のトークを通じてギフトを贈り合うことができるコミュニケーションサービス「LINEギフト」へ出店し、LINEギフト販売開始を記念して、特定のチケット購入で“たこ焼1舟交換チケット（ソース、8個入り）”がもらえるキャンペーン（数量限定）を実施いたしました。商品関連では、2月2日から3月3日までの期間、『ワールドツアー上映「鬼滅の刃」絆の奇跡、そして柱稽古へ』の映画公開を記念したコラボレーションを実施し、昨年発売し好評であった『時透無一郎と甘露寺蜜璃の胡麻ねぎ明太とろろ（8個入り）』を期間限定で再販売したほか、「鬼滅の刃」キャラクターが集合した『オリジナルデザイン だんらんパック（24個入り）、限定デザインクリアファイル付』も発売いたしました。また3月18日より大人気商品『九条ねぎマヨ 焦がし醤油』を、3月20日よりTVアニメとのコラボ限定デザインの『お花見だんらんパック』（数量限定）を、全国の築地銀だこのクロワッサンたい焼取扱店舗（一部店舗を除く）では、2月15日より新作プレミアムクロワッサンたい焼『濃い あまおう いちごみるく』をそれぞれ期間限定で発売いたしました。こうした積極的な販売促進の取り組みにより、当第1四半期における既存店売上高前年比は110.2%となりました。なお出店については、1月に「イーアスつくば店」をオープンいたしました。

酒場事業においては、通常の販売促進や商品開発・メニュー改定等に加え、人流の回復やインバウンド需要の増加もあり、各業態ともに好調に推移いたしました。出店については、酒場事業の中でも特に利益率の高い「銀だこハイボール酒場」・「おでん屋たけし」の新規出店に注力し、1月に「銀だこハイボール酒場」の「成田駅前店」、2月に「銀だこハイボール酒場」の「豊洲千客万来店」、「銀だこハイボール横丁」の「新宿中央東口店」、「おでん屋たけし」の「中目黒店」、3月に「銀だこハイボール酒場」の「広島流川店」、「銀だこハイボール横丁」の「新宿歌舞伎町靖国通り店」、「おでん屋たけし」の「麻布十番店」をそれぞれオープンいたしました。

主食事業においては、「東京油組総本店〈油そば〉」をはじめとした既存業態が好調に推移いたしました。出店については、2月に「東京油組総本店〈油そば〉」の「小倉組」及び「鶏そば炭や」の「新橋店」を、3月にはこだわりの“十割そば”や“揚げたての天ぷら”などをお召し上がりいただける「十割そば 囲炉裏」の「つくば店」をオープンいたしました。

製販事業においては、冷凍たこ焼の大手コンビニエンスストア向け卸販売のほか、アイスクリーム製品の大手スーパーマーケット向けの販路が拡大し好調に推移いたしました。また冷凍たこ焼については、引き続き海外販路の開拓に積極的に取り組んでおり、今後の需要増加を見越して、群馬県桐生市の冷凍たこ焼工場の隣地に冷凍設備倉庫を新設することを決定いたしました。

海外事業においては、今季日本人選手の活躍が期待され、全世界から注目を浴び盛り上がっている米国のプロ野球球団ロサンゼルス・ドジャースと協力し、米国時間3月24日にドジャースのホーム球場である『ドジャー・スタジアム』内に「築地銀だこ」をオープンし、創業以来人気No.1の“ぜったいうまい!! たこ焼”

「Original（ソース）」に加え、ドジャー・スタジアムでしか味わえない『限定たこ焼』として「Cheese & Salsa（チーズ&サルサ）」、「Cheese & Guacamole（チーズ&ワカモレ）」、「Tempura & Sweet soy sauce（天ぷら&スウィート ソイ ソース）」を加えた計4種類のたこ焼を発売いたしました。また、今後米国国内での冷凍たこ焼の卸販売等を目的とし、カリフォルニア州をはじめとした米国本土各地（ハワイ州含む）において、日本食や日本酒等とともに「築地銀だこの冷凍たこ焼」のプロモーションを行いました。アセアンでは新型コロナウイルス感染症に関わる各種規制が緩和され、本格的なアフターコロナに向けた経済活動の活発化が

進んでおり、新規国でのマスターフランチャイズ契約の締結を進めております。香港では新型コロナウイルス感染症の影響が未だ残りかつ外部環境の変化が顕在化しているものの、直営店舗は営業黒字を維持している店舗も多く、引き続き商機を吟味しつつ出店してまいります。

観光地に店舗を多く有する株式会社ファンインターナショナルの運営店舗は、人流の回復やインバウンド需要の増加等により引き続き堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は11,459百万円（前年同期比21.9%増）、営業利益は1,105百万円（前年同期比66.7%増）、経常利益は1,514百万円（前年同期比107.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は930百万円（前年同期比97.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して2,731百万円増加し、26,445百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が1,872百万円、固定資産が842百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して1,823百万円増加し、14,780百万円となりました。その主な要因は、未払金が267百万円増加、長期借入金が673百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して907百万円増加し、11,664百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が930百万円増加した一方、剰余金の配当により利益剰余金が212百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月14日付「2023年12月期 決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,860,928	4,733,415
売掛金	2,401,153	2,530,194
棚卸資産	2,806,218	2,497,463
その他	2,076,921	2,274,775
貸倒引当金	△65,102	△66,794
流動資産合計	10,080,119	11,969,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,479,882	5,588,670
その他(純額)	2,362,073	2,656,853
有形固定資産合計	7,841,956	8,245,524
無形固定資産		
のれん	632,813	611,342
その他	88,454	78,525
無形固定資産合計	721,268	689,867
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,719,607	2,787,439
その他	2,368,521	2,771,119
貸倒引当金	△17,510	△17,338
投資その他の資産合計	5,070,618	5,541,220
固定資産合計	13,633,843	14,476,613
資産合計	23,713,962	26,445,667
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,770,524	1,935,245
短期借入金	2,010,086	2,062,604
1年内返済予定の長期借入金	1,292,728	1,443,494
未払金	1,432,988	1,700,160
未払法人税等	454,644	568,939
賞与引当金	146,104	281,823
資産除去債務	2,490	4,359
その他	1,953,100	2,234,179
流動負債合計	9,062,667	10,230,807
固定負債		
長期借入金	2,148,234	2,822,082
資産除去債務	882,445	899,726
退職給付に係る負債	89,214	91,497
その他	774,490	736,856
固定負債合計	3,894,384	4,550,163
負債合計	12,957,052	14,780,970

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,313,074	3,313,074
資本剰余金	3,180,584	3,180,584
利益剰余金	3,696,616	4,414,889
自己株式	△786,102	△786,102
株主資本合計	9,404,174	10,122,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,516	△16,983
繰延ヘッジ損益	881,364	1,003,991
為替換算調整勘定	△2,267	△3,364
退職給付に係る調整累計額	△10,511	△9,822
その他の包括利益累計額合計	880,101	973,820
非支配株主持分	472,633	568,429
純資産合計	10,756,910	11,664,696
負債純資産合計	23,713,962	26,445,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	9,397,172	11,459,439
売上原価	4,129,698	4,999,882
売上総利益	5,267,474	6,459,556
販売費及び一般管理費	4,604,287	5,354,211
営業利益	663,187	1,105,345
営業外収益		
受取利息及び配当金	424	4,538
為替差益	66,293	392,717
その他	10,729	26,817
営業外収益合計	77,447	424,074
営業外費用		
支払利息	9,032	10,999
支払手数料	2,512	2,549
その他	686	1,713
営業外費用合計	12,231	15,262
経常利益	728,403	1,514,156
特別損失		
固定資産除却損	2,108	3,940
店舗整理損失	1,022	4,616
減損損失	9,685	32,950
特別損失合計	12,817	41,507
税金等調整前四半期純利益	715,586	1,472,649
法人税、住民税及び事業税	288,236	562,144
法人税等調整額	△57,870	△97,975
法人税等合計	230,365	464,168
四半期純利益	485,220	1,008,480
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,023	77,735
親会社株主に帰属する四半期純利益	471,197	930,745

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	485,220	1,008,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	289	△28,500
為替換算調整勘定	△1,293	16,963
退職給付に係る調整額	700	689
繰延ヘッジ損益	△27,973	122,626
その他の包括利益合計	△28,276	111,779
四半期包括利益	456,944	1,120,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	442,252	1,024,464
非支配株主に係る四半期包括利益	14,691	95,795

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2024年4月25日開催の取締役会において、下記のとおり、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分（以下「本自己株式処分」という。）を行うことについて決議しました。

1. 本自己株式処分の概要

(1) 払込期日	2024年5月24日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 14,479株
(3) 処分価額	1株につき2,177円
(4) 処分総額	31,520,783円
(5) 処分先及びその人数並びに処分株式の数	当社の取締役（※1） 4名 8,731株 当社子会社の取締役（※2） 9名 5,748株 ※1 監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。 ※2 社外取締役を除く。
(6) その他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

2. 処分の目的及び理由

当社は、2024年3月27日の当社第33期定時株主総会において、当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）が株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めることを目的として導入いたしました譲渡制限付株式報酬制度に基づき、2024年4月25日開催の取締役会において、本自己株式処分を決議いたしました。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。